

日本語版

2026年度入学者用/For students enrolled in 2026

演習指導募集 Seminar Guide

※ 個人情報が含まれているので、取り扱いには十分注意すること。

※ Be careful with this information as it contains personal information.

2026年度 演習募集教員一覧/List of Faculty Members

理論分析講座/Theoretical Analysis

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
①-1	芦 谷 政 浩 ASHIYA Masahiro	ミクロ経済学(Microeconomics)	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp
①-2	清 水 崇 SHIMIZU Takashi	ミクロ経済理論(Microeconomic Theory)	shimizu@econ.kobe-u.ac.jp
①-3	小 林 照 義 KOBAYASHI Teruyoshi	ネットワーク科学、マクロ経済学、金融政策 (Network Science, Macroeconomics, Monetary Policy)	kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp
①-4	宮 川 栄 一 MIYAGAWA Eiichi	ゲーム理論・行動経済学 (Game Theory, Behavioral Economics)	miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp

歴史分析講座/Historical Analysis

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
②-1	橋 野 知 子 HASHINO Tomoko	近現代日本経済史、数量経済史、経済発展論 (Economic History of Modern Japan, Quantitative Economic History, Development Economics)	hashino@econ.kobe-u.ac.jp
②-2	中 岡 俊 介 NAKAOKA Shunsuke	欧米近現代経済史、比較経済史 (Economic History of Europe and the US, Comparative Economic History)	nakaoka@econ.kobe-u.ac.jp

計量・統計分析講座/Statistics and Econometric Analysis

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
③-1	末 石 直 也 SUEISHI Naoya	計量経済学(Econometrics)	sueishi@econ.kobe-u.ac.jp
③-2	難 波 明 生 NAMBA Akio	統計学・計量経済学 (Statistics, Econometrics)	namba@econ.kobe-u.ac.jp
③-3	松 林 洋 一 MATSUBAYASHI Yoichi	国際マクロ経済学の実証分析 (Empirical Analysis of International Macroeconomics)	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp
③-4	茂 木 快 治 MOTEGI Kaiji	計量経済学・時系列分析 (Econometrics, Time Series Analysis)	motegi@econ.kobe-u.ac.jp

技術・環境分析講座/Statistics and Econometric Analysis

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
④-1	阪 本 浩 章 SAKAMOTO Hiroaki	応用理論, 数値計算 (Applied theory, numerical methods)	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp
④-2	柘 植 隆 宏 TSUGE Takahiro	環境経済学(Environmental Economics)	教務係(econ-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)
④-3	中 村 健 太 NAKAMURA Kenta	イノベーションの経済学・企業経済学 (Economics of innovation, Economic of the firm)	knakamura@econ.kobe-u.ac.jp

比較経済政策講座/Comparative Economic Policy

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
⑤-1	梶 谷 懐 KAJITANI Kai	中国経済論、開発経済論 (Chinese Economy, Developing Economy)	kajitani@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-2	金 京 拓 司 KINKYO Takuji	マクロ経済・金融実証分析 (Empirical Analysis in Macroeconomics and Finance)	kinkyo@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-3	佐 野 晋 平 SANO Shinpei	教育経済学、労働経済学(Economics of Education, Labor Economics)	sano@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-4	古 田 学 FURUTA Manabu	開発経済論、国際経済学、インド経済 (Development Economics, International Economics, Indian Economics)	furuta@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-5	ヴィエシボフスカ アガタ WIERZBOWSKA Agata	銀行システム・金融政策；ヨーロッパ経 済と統合(Banking Sector and Monetary Policy, European Economy and Integration)	wierzbowska@econ.kobe-u.ac.jp

産業・社会政策講座/Industrial and Social Policy

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
⑥-1	衣 笠 智 子 KINUGASA Tomoko	農業政策・人口政策(Agricultural policy and population policy)	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-2	鈴 木 純 SUZUKI Jun	経済体制論(Theories and Thoughts of Economic Systems / Nonprofit Economy)	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-3	藤 岡 秀 英 FUJIOKA Yoshihide	社会政策、地域創生論(Socialpolicy Socialsecurity , Regional Revitalization Theory)	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-4	水 野 倫 理 MIZUNO Tomomichi	産業組織論の理論的研究 (Theory of Industrial Organization)	mizuno@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-5	山 岡 淳 YAMAOKA Atsushi	社会保障(医療・介護・年金・福祉等)・医療 経済学・社会政策(Health Policy, Health Economics, Social Policy)	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-6	勇 上 和 史 YUGAMI Kazuhumi	労働経済学(Labor Economics)	yugami@econ.kobe-u.ac.jp

金融・公共政策講座/Monetary and Public Policy

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
⑦-1	岩 壺 健 太 郎 IWATSUBO Kentaro	ファイナンス、国際金融 (Finance, International Finance)	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-2	大 坪 陽 一 OTSUBO Yoshichi	ファイナンス (Finance)	otsubo@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-3	豊 谷 整 克 TATAMITANI Yoshikatsu	メカニズムデザイン、公共経済学 (Mechanism Design, Public Economics)	tatamitani@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-4	西 山 慎 一 NISHIYAMA Shin-ichi	金融論、金融政策、マクロ経済学(特にDSGEモデル)(Monetary Economics, Monetary Policy, Macroeconomics)	nishiyama@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-5	宮 崎 智 視 MIYAZAKI Tomomi	財政学・公共経済学 (Public Finance/Public Economics)	miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp

国際経済政策講座/International Economic Policy

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
⑧-1	胡 云 芳 HU Yunfang	国際経済学・マクロ経済学(International Economics, Macroeconomics)	yhu@econ.kobe-u.ac.jp
⑧-2	橋 本 賢 一 HASHIMOTO Ken-ichi	マクロ動学・国際マクロ経済学 (Macroeconomic Dynamics, International Macroeconomics)	hashimoto@econ.kobe-u.ac.jp

経済経営研究所/Research Institute for Economics and Business Administration

頁/Page	教 員 名/Lecturer	研 究 領 域/Research Fields	メー ル ア ド レ ス/E-mail
⑨-1	明 坂 弥 香 AKESAKA Mika	労働経済学、行動経済学 (Labor Economics, Behavioral Economics)	mika_akesaka@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-2	岩 佐 和 道 IWASA Kazumichi	国際経済学、マクロ経済動学(International Economics, Macroeconomic Dynamics)	iwasa@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-3	上 東 貴 志 KAMIHIGASHI Takashi	経済理論、マクロ経済動学、計算社会科学 (economic theory, macroeconomic dynamics, computational social science)	tkamihig@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-4	北 野 重 人 KITANO Shigeto	国際マクロ経済学 (International Macroeconomics)	kitano at rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-5	佐 藤 隆 広 SATO Takahiro	現代インド経済論 (Studies in the Indian Economy)	takahirodevelop@gmail.com
⑨-6	柴 本 昌 彦 SHIBAMOTO Masahiko	マクロ経済政策、景気循環変動に関する実証分析(Empirical studies on macroeconomic policies and business cycles)	shibamoto@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-7	瀋 俊 毅 SHEN Junyi	行動経済学、応用計量経済学(Behavioral Economics, Applied Econometrics)	shen@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-8	浜 口 伸 明 HAMAGUCHI Nobuaki	空間経済学、地域産業政策 (Spatial economics, Regional industrial policy)	hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-9	村 上 善 道 MURAKAMI Yoshimichi	ラテンアメリカ経済論、開発経済学、貿易実証(Latin American Economy, Development Economics, Empirical Analysis on International Trade)	y-murakami@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-10	家 森 信 善 YAMORI Nobuyoshi	金融システム(Financial System)	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp

※ 各教員のメールアドレスは個人情報ですので、取り扱いには十分注意してください。
Be careful with this information as it contains personal information.

① 理論分析講座

教員名	芦谷政浩教授	①-1
専門分野	ミクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望 ミクロ経済学の理論的研究を行なう。ゼミの進め方は、学生と相談の上で決定する。所属ゼミ生は、最低でも毎週10本以上の英語論文を読むこと。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 Game Theory Analysis of Platform Information		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー メールによるアポイントメント		
連絡先	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	宮川栄一教授	①-4
専門分野	ゲーム理論・行動経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
社会における人々の行動の裏側にある仕組みや原因などを理解するために、ゲーム理論と行動経済学を使って数理モデルを作り、理論的な分析を行います。行動の制約やタイミング、個人が持つ情報などをゲーム理論を使ってモデル化して、行動経済学を使って現実の人間の動機・心理を数式化します。まずはゲーム理論の演習問題を解くことから始めて、徐々に専門性を高めていきます。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「チートークゲームの多次元化」「マッチングアプリでの男女料金差」「就活の早期化と内定の公開」 「ネットワークで口コミが広がる場合の最適価格戦略」「推し活の心理」「メディアが決める偽情報の比率」 「第三者決済企業による最適還元率」「二次創作者と原作者のゲーム理論分析」「神社参拝の合理性」 「寡占市場でのメニュー価格」「馬券購入でのシグナリング」「素直になれない人」		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：面接 二次募集締切での選考方法：面接		
オフィスアワー		
メールを送っていただければ面談の日時を調整します。		
連絡先	miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp	

② 歴史分析講座

③ 計量・統計分析講座

教員名	末石直也教授	③-1
専門分野	計量経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
計量経済学の理論研究を行う。実証研究を志望する学生を受け入れる場合もあるが、理論研究に強い関心がある学生に限定する。ゼミは基礎的な内容を学ぶ場ではないので、手法の使い方を勉強したいだけの学生は、ゼミではなく通常の講義（計量経済学A・Bなど）を受講することを推奨する。受け入れを希望する場合は、必ずオフィスアワーに参加すること。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
"Forecasting the Japanese Macroeconomy Using High-Dimensional Data", "Is a Pension Increase Good for Health? Empirical Evidence from China's Rural Pension Scheme"		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：面接 二次募集締切での選考方法：面接		
オフィスアワー		
メールによるアポイントメント		
連絡先	sueishi@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	難波明生教授	③-2
専門分野	統計学・計量経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
統計学および計量経済学の理論的側面に興味がある学生を希望します。そのために「計量経済学A」・「計量経済学B」の講義は必ず履修してください。取り扱う内容については、受講者と相談の上決定しますが、基本的には統計学・計量経済学の理論を主たる研究分野とします。研究指導への所属を希望する学生はミスマッチを避けるためにも必ず応募前にオフィスアワーで相談してください。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
経済の集積、分布の地域発展への影響に関する空間計量経済分析		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：面接 二次募集締切での選考方法：面接とテストを併用		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントを取ってください。 オフィスアワーに参加していない応募者は受け入れないので、受け入れ希望者は必ずオフィス		
連絡先	namba@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	松林洋一教授	③-3
専門分野	国際マクロ経済学の実証分析	
ゼミの内容と学生への要望 学部レベルのマクロ経済学、計量経済学の知識はすでに習得していること。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 The Impact of Immigrants on Trade: Evidence from Japan		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー メールにて要相談		
連絡先	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	茂 木 快 治 教 授	③-4
専 門 分 野	計量経済学・時系列分析	
ゼミの内容と学生への要望		
計量経済学（とりわけ時系列分析）の理論・方法論・応用を研究します。これらの分野に関心を抱く学生を希望します。計量経済学の理論や方法論を学位論文のメインテーマにしたいという学生は特に歓迎します。実証研究を学位論文のメインテーマにする場合は、計量経済学的側面に十分配慮した実証分析を行うことを求めます。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「日本の不動産投資信託市場の計量経済分析」「東証REIT用途別指数のポートフォリオ分散効果の計量分析」「日本のマクロ経済における履歴効果の統計的検証」		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントをとってください。		
連 絡 先	motegi@econ.kobe-u.ac.jp	

④ 技術・環境分析講座

教 員 名	阪 本 浩 章 准 教 授	④-1
専 門 分 野	応用理論, 数値計算	
ゼミの内容と学生への要望 経済学の理論に関する研究論文を執筆します。ミクロでもマクロでも構いません。希望する学生はオフィスアワーに参加してください。 ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 なし		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用 二次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用		
オフィスアワー メールでアポイントメントをとってください。		
連 絡 先	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp	

⑤ 比較經濟政策講座

教 員 名	佐 野 晋 平 教 授	⑤-3
専 門 分 野	教育経済学、労働経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
このゼミでは、教育経済学、労働経済学の実証分析をテーマとします。教育政策の効果、労働政策の効果、教育と労働市場の関連について、理論的・実証的な関心があることを求めます。また計量経済学を用いた実証分析を志す方に関連科目の履修を強く求めます。 お互いのミスマッチを防ぐためにも、ゼミへの参加希望者は、事前にEメールでアポイントを取り教員面談を必ず行ってください。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「コロナ禍の休校が家計の教育投資に与えた影響」、「部活動参加が教育のアウトカムに与える影響」、「競業避止義務の経済分析」、「結婚と家庭内分業が男女の労働時間に与える影響」		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントをとってください。		
連 絡 先	sano@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	古田学准教授	⑤-4
専門分野	開発経済論、国際経済学、インド経済	
ゼミの内容と学生への要望		
インドをはじめとする途上国経済における経済発展に関し、開発経済学ならびに国際経済学の視点から実証的に検証を行います。応募の要件としては、1) ミクロ・マクロ経済学に関する大学学部レベルの知識、2) 学術的な文献を読みこなせるだけの英語力、3) 途上国経済への関心、となります。また、ゼミに所属してからで良いですが、Stataをはじめとする統計ソフトの習熟が必須となります。ゼミへの参加希望者は事前にメールでアポイントメントをとり、教員面談を行ってください。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし。		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントを取ってください。		
連絡先	furuta@econ.kobe-u.ac.jp	

⑥ 産業・社会政策講座

教 員 名	衣 笠 智 子 教 授	⑥-1
専 門 分 野	農 業 政 策 ・ 人 口 政 策	
ゼミの内容と学生への要望		
人口・農業・食料のいずれかに関連した研究をする学生を歓迎します。ゼミでは、主に、計量分析により修士論文を書くように指導します。私の指導学生は、都道府県、世界各国、中国の省別、個票データ、時系列データなどのデータを使って計量分析により論文を書いてきました。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
日本における男女別結婚状況と社会経済要因、農協と日本農業の発展に関する考察、中国における出生性比に関する計量的研究、フィリピンの人口変化と経済成長に関する計量的研究Ⅰ		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 ： 書類審査のみ		
オフィスアワー		
Eメールによるアポイントメント。4月17日正午までにメールを送付してください。		
連 絡 先	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	鈴木純教授	⑥-2
専門分野	経済体制論	
ゼミの内容と学生への要望		
以下のようなテーマを研究対象とします。 ・経済体制論（福祉国家論を含む）に関する理論的・学説史的・思想史的研究 ・非営利経済部門（組織）、サード・セクターに関する理論的・実証的研究		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「T. H. グリーンの自由と公共善－共生社会の思想構築に向けた考察－」， 「社会的企業の意思決定構造に関する考察」，「サード・セクターと地方公共団体のパートナーシップ」		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー		
メールで連絡してください（メールタイトルを「大学院オフィスアワー希望」としてください）。 ★鈴木ゼミを希望する場合は、必ず事前に相談してください。		
連絡先	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	藤 岡 秀 英 教 授	⑥-3
専 門 分 野	社会政策、地域創生論	
ゼミの内容と学生への要望		
社会政策の研究テーマとして、日本国内外を問わず、福祉国家、社会保障、社会福祉、さらに地域創生論についての原理的研究と現地調査をふまえた実証的研究に取り組む方を募集します。 とくに、文献研究と現地調査に取り組む意欲がある人が望ましいところです。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
フランスでの外国人季節労働者、フリーランスと社会保障、障害者の就労支援		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー		
電子メールで都合のよい日時を連絡してください。		
対面もしくはZoomでのオンライン面接を行います。		
連 絡 先	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	山岡淳准教授	⑥-5
専門分野	社会保障（医療・介護・年金・福祉等）・医療経済学・社会政策	
ゼミの内容と学生への要望		
■ゼミの内容：ゼミでは社会保障に関連するテーマでの実証研究を行います。 ■学生への要望：研究テーマの設定にあたっては、具体的な社会や政策の課題を想定していただくことを強く勧めます。なおゼミ生には2週間に1回以上の報告を求めます。私は神戸市のヘルスケアデータベースを用いた救急搬送体制をテーマにした研究プロジェクトを実施中です。当該領域を研究テーマとする学生を優先的に採用します。詳細はホームページをご確認ください。https://ymok.info/		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「定年延長と消費行動に関する実証研究」「介護の待遇改善が労働需要に与える影響」「コロナ禍における外出規制がメンタルヘルスに与える影響」「社会保障への態度の決定要因」等		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：面接		
オフィスアワー		
一次審査への応募希望者はメールにより個別のアポイントを取ってください。 その際に、候補となる日時を3つ以上指定していただけると日程の調整がスムーズに行えます。		
連絡先	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	勇上和史教授	⑥-6
専門分野	労働経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
このゼミでは、労働経済学をベースとした実証研究を行います。労働市場や労働政策について、理論的・実証的な関心があることを求めます。また計量経済学を用いた実証分析を志す方に関連科目の履修を強く求めます。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「コロナ後の日本におけるテレワーク選択の実証分析」、「長時間労働が女性の就業継続に及ぼす影響-中国における実証分析」「東日本大震災が収入および雇用に与えた長期的影響の検証」など。		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー		
メールで個別にアポイントメントを取って下さい。□		
連絡先	研究室:第2学舎301, yugami@econ.kobe-u.ac.jp □	

⑦ 金融・公共政策講座

教 員 名	岩 壺 健 太 郎 教 授	⑦-1
専 門 分 野	ファイナンス、国際金融	
ゼミの内容と学生への要望 ファイナンス（株式、為替、コモディティ、暗号資産、債券）分野の実証研究、および、機械学習を使ったデータ分析を行いたい大学院生を歓迎します。コンピュータスキルが必須です。PythonまたはRを勉強します。英語で文献が読めることも必要です。ミクロⅠ、計量経済学、時系列分析を履修することを義務とします。 ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 “Deep learning for predicting Exchange rate by term structure”“Price Discovery in Gold Futures Markets”「JASDAQにおける中小企業株式流動性に関する研究」「金融政策決定会合と株価」		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用 二次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用		
オフィスアワー 早めにメールでAppointmentをとってください。大学院ゼミの様子は教員HPをご覧ください。		
連 絡 先	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp	

教員名	大坪陽一准教授	⑦-2
専門分野	ファイナンス	
ゼミの内容と学生への要望		
ファイナンス領域における実証研究をテーマとします。ファイナンスの理論および計量経済学、特に時系列分析の基礎知識があること、RやMatlabなどの計量ソフトの基礎的な技能を習得していることを要件とします。学術論文の読解、プレゼンテーション、論文執筆など、すべて原則英語で行います。参加希望者はEメールでアポイントを取り、面接をおこなってください。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：面接		
オフィスアワー		
Emailにて受け付けます。		
連絡先	otsubo@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	宮 崎 智 視 教 授	⑦-5
専 門 分 野	財政学・公共経済学	
ゼミの内容と学生への要望 財政学・公共経済学の実証分析手法について学び、学位論文を執筆します。その他詳しいことは、以下のサイトを参照のこと。 https://sites.google.com/view/tomomisite2/home/course-jpn/grad-seminar		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 「ふるさと納税制度と自治体間競争に関する研究」，「日本における財政移転と人口移動」，「空港ターミナルビルの所有形態と効率性」		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー メールでのアポイントメント。		
連 絡 先	miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp	

⑧ 国際経済政策講座

教 員 名	橋 本 賢 一 教 授	⑧-2
専 門 分 野	マクロ動学、国際マクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望 ゼミでは、動学的一般均衡を用いたマクロ経済学を研究テーマとします。特にマクロ動学理論を用いて、経済成長や国際マクロに関する経済事象について数理モデルによる理論的分析をおこないます。動学分析のためには、数学の知識（微分・積分など）が必要となります。またコアコースのミクロ経済学とマクロ経済学を履修されていることが望ましい。選考は、マクロ経済理論に対する理解に関してテストします。ゼミを希望する場合は必ずオフィスアワーに来ること。都合がつかない場合は、その旨をメールし、ゼミの内容に関する説明を必ず受けた上で応募すること。 ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用 二次募集締切での選考方法 ： 面接とテストを併用		
オフィスアワー メールによるアポイントメント		
連 絡 先	hashimoto@econ.kobe-u.ac.jp	

⑨ 経済経営研究所

教 員 名	明 坂 弥 香 准 教 授	⑨-1
専 門 分 野	労働経済学、行動経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
労働経済学（家族の経済学等の関連分野も含む）・行動経済学に関する実証研究を行います。学部レベルの経済理論、計量経済学の知識を有していること、英語論文を読めるレベルの英語力を有していることを求めます。当該分野は、データ構築・整理および分析のために多くの作業時間が必要です。その点を十分に理解したうえで参加を検討して下さい。事前に書類審査を行い、通過した方のみに面接を行います。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー		
演習への参加を考える学生は、できるだけ早い時期にメールでアポイントをとってください。 予定人数に達したら募集を終了します。		
連 絡 先	mika_akesaka@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	岩 佐 和 道 教 授	⑨-2
専 門 分 野	国際経済学、マクロ経済動学	
ゼミの内容と学生への要望		
・ゼミに応募する学生は、必ずオフィスアワーでの面談を行うこと。 ・理論モデルの研究を必ず行うことになります。 ・データを用いた研究や、特定の産業に着目した研究に対する指導はできません。 ・学部レベルのミクロ経済学、経済数学の知識は必須です。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
修了生はいません（現在、指導中の学生もいません）。		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 ： 面 接 二次募集締切での選考方法 ： 面 接		
オフィスアワー		
メールによりアポイントメントを取ってください。		
連 絡 先	iwasa@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	北 野 重 人 教 授	⑨-4
専 門 分 野	国際マクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望 Dynamic Stochastic General Equilibrium (DSGE) モデルの枠組みで、国際マクロ経済学(特に新興国)の諸問題を勉強する予定です。基礎的な経済数学の知識が必須です。また、matlabというソフトウェアを用いますので、このソフトウェアの基本的な知識の習得が必要になります。併せて実証研究についても学びますのでVARやLocal Projection等の知識があることが前提になります。ゼミへの参加希望者は、事前にメールでアポイントメントをとり、教員と面談を行ってください。 ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 The Transmission of Commodity Price Fluctuations to Emerging Economies: Cross-Country Analysis		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 面接		
オフィスアワー メールでアポイントメントを取って下さい。		
連 絡 先	kitano@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	佐藤隆広教授	⑨-5
専 門 分 野	現代インド経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
ゼミでは、学部高学年で学ぶマクロ経済学・ミクロ経済学・計量経済学の理解が必須です。TSP、Eviews、STATA、Rなどの統計ソフトの利用にも習熟していれば、なおいっそう、ゼミでの学習が円滑になるかと思いますが、こちらは未経験者でも入ゼミ後に習得すれば問題ありません。取り扱うテーマは相談に応じます。ゼミではインド経済のデータを利用した何かしらの実証分析を行います。インド経済に関する研究書や研究論文を多数読んでいる学生を歓迎します。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
『インドの銀行部門の効率性に関する実証分析』、『ヒンドゥー教徒相続（改正）法とインド女性の教育—「全国家族健康調査」（2015-16年度）を利用して—』		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー		
演習への参加を考える学生は、必ず、事前に電子メールでアポをとって相談してください。		
連 絡 先	takahirodevelop@gmail.com	

教 員 名	瀋 俊毅	教 授	⑨-7
専 門 分 野	行動経済学、応用計量経済学		
ゼミの内容と学生への要望			
ゼミの内容：経済実験やアンケート調査などの手法を用い、経済行動に大きな影響を与えているにもかかわらず、これまで十分に考慮されず、しばしば誤解されてきた人間の不合理性を分析することを主な研究テーマとします。修士論文の作成にあたっては、計量経済分析手法の習得が不可欠となります。ゼミでは、各自の研究進捗や関連する既存研究について発表してもらい、それをもとに議論を行います。 学生への展望：原則として、私の指導を第一希望または第二希望としている学生のみをお引き受けします。			
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例			
(1) An empirical analysis on the determinants of overweight and obesity in China. (2) Factors affecting participation in health checkups: Evidence from Japanese survey data.			
募集・選考の方法			
一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接			
オフィスアワー			
2026年4月8日（水）13：20～14：20 場所：兼松記念館一階124号室			
2026年4月15日（水）13：20～14：20 場所：兼松記念館一階124号室			
連 絡 先	shen@rieb.kobe-u.ac.jp		

教員名	家森信善教授	⑨-10
専門分野	金融システム	
ゼミの内容と学生への要望 日本の金融システムに関する研究を行っています。私の研究関心については、最近の研究業績を参照してください。 https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/faculty/global_finance/n_yamori.html 2年間でしっかりとした修士論文を書くことを目指します。ゼミとして共通図書を読むことはせず、それぞれの研究に対して助言・指導する形で進めます。 私の担当する金融システムの講義を受講してください。 学外者を招いた研究会・シンポジウム（土日を含めて時間帯はさまざま）を1ヶ月に一回程度の頻度で開催していますので、（他の講義の履修に支障がない限り）必ずしも研究テーマに沿わなくても参加することが約束できることをゼミ参加の条件としています。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例 「信用金庫のCSR活動とCSR開示の決定要因の分析」		
募集・選考の方法 一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：書類審査のみ		
オフィスアワー ゼミについて詳しく知りたい場合は、金融システムの講義の際に声をかけてください。4月15日の講義終了後に、希望者がいれば説明します。当該日が不都合な場合、4月11日までに下記に連絡をしてください。別日の日程を調整します。		
連絡先	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp	

六甲台第1キャンパス建物配置図 Rokkodai 1st Campus

